

エピソード

七夕の会で、栽培していた野菜を収穫して供えることにし、朝からみんなで収穫をしました。その中で、小玉スイカも2つ収穫することができました。保育室に持って帰り、保育者が「スイカは七夕の会の最後に切ってみようか」と話をしました。2つのスイカをどのように切るか相談すると、縞模様に平行（縦）と縞模様に垂直（横）に切ってみようということになりました。保育者が「切ってみるとどうなってるのかな?」と言うと、「中は赤やで」「種が入ってる」と話していたので、「種はどう入ってる?」と聞くと「バラバラやで」「並んでる」と2つの意見にわかれしました。そこで、どのように種が入っているかホワイトボードにかいてみることにしました。どのように種が入っているか予想し、七夕の会で確かめることを楽しみにしていました。



縦と横に切ろう
(提案)



種はバラバラだ
と思う(予想)



丸く並んでる
と思う(予想)



スイカのおいが
する(感覚)

黒い種と白い種
がある(比較)

並び方が違う
(気づき)



縦に切ったもの

横に切ったもの



きれいに並んでた
(確かめる)

お花みたいに
見えた(発見)

スイカを縦と横で切ってみると、最初は「スイカのおいがする」と嬉しそうにしていました。近くでじっくり見ると「黒い種と白っぽい種がある」「なんかちょっと違うな」「模様みたいなもの見える」と気付いたことを話していました。保育室に戻り、もう一度みんなで話してみると「きれいに並んでた」「まっすぐ並んでるみたい」「白い種の方は模様がお花みたいな形にも見えた」と気付いたことを伝え合っていました。小さいスイカだったこともあり、種が見えづらい部分もありましたが「スイカの種はバラバラじゃなくてきれいに並んでるんだね」と確かめていました。「もっとスイカができたらいいな」と牛乳パックに土を入れ、スイカの種を植えてみえています。

子どもの育ちや学び

- ・自分たちが栽培していたスイカに興味や関心をもち、中がどうなっているか予想する。
- ・予想したことを言葉で伝えたり、絵にかいたりして、表現する。
- ・2つのスイカを見比べることで、種の色や並び方の違い、並び方の規則性に気付く。
- ・予想したことと見たことを伝え合うことで、予想したことが合っていたのか確かめる。

保育者の思い

- ・スイカをどのように切るかを子ども達と相談し「縦と横に切る」ということになったことで、切ってみる期待や喜びだけでなく、スイカの中や種にも興味が広がっていくといいな、と思い、中がどうなっているか聞いてみることにしました。
- ・切って見たときに、一つのスイカはまだ熟していなかったようで種が黒くなっていませんでした。また、スイカの大きさが大人の手の平サイズだったこともあり、種の並び方も見づらいため、予想したことを確かめられないかも…と少し不安になりました。
- ・保育室に帰って話をしてみると、種の色の違いや種の並び方、模様など気付いたことを言葉にして、「どうなってるのかな?」と意識して、注意深く見ていたんだな、と感じました。

家庭だったら

- ・丸ごとのスイカを切る機会は少ないかもしれませんが、野菜や果物の断面を予想して切ってみると新たな発見があるかもしれませんね。切り方によって違うのも面白いですね。